

(裏面からの続き)



これは一例ですが、例えばここに大学の国際学部を誘致し、外国からの留学生を呼び寄せ、日本の最先端技術や伝統文化を学ぶため「国際交流センター」のような機能を果たしていけば良いのではないかと思います。

松戸市には伝統的な文化もありますし、近隣には松飛台工業団地も抱えています。伝統も最先端技術も提供できていくでしょうし、その中で松戸市がイニシアチブを取っていけるようになれば、それは立派な松戸市の特色になるのではないのでしょうか？

石井
なるほど、既に多数存在する大学を、国際交流というキーワードでネットワーク化するわけですね。経済だけでなく、教育にも良い効果をもたらさそうです。

渡辺

ともかく、松戸市の発展のために常に意識していかないといけないのは、整備されつつある交通インフラ、つまり「線」が整備され、完成しつつある関東のこれまでとは違った「面」の姿を冷静に見定め、その中で松戸市をどんな特色を持った「点」としていくか、という事です。

この地域は私の地元でもありますし、発展のためには国政からも最大限のサポートをしていきたいと思っっています。ですから、石井議員は松戸市の立場から、どんどん良いプランを考えていただき、提言していただきたいですね。

石井

地域を代表する国会議員の渡辺議員にそういつていただけると大変ありがたいです。今後も頻繁に議員会館にお伺いしますね。

渡辺

いつでもいらしてください。お待ちしておりますよ。



対談を終えて

年始早々、まだ選挙の熱も冷めやらぬ時期に訪問させていただいたにもかかわらず、渡辺議員は私の質問に対し、懇切丁寧に回答してくれました。

また渡辺議員は、国会議員として日本を「面」として大きく捉えた視点と、地元の小々な交差点や踏切といった細かな「点」の視点もあわせもたれており、改めて地元出身の衆議院議員とのつながりの大切さを実感するとともに、この地域の代表が渡辺議員で良かったと感じました。

道路・鉄道のインフラが整備されつつある現在、松戸市の置かれた状況も刻々と変貌を遂げております。これをチャンスとして捉え、松戸市がより発展するよう邁進したいという思いを新たに、夕暮れの国会議事堂を後にしました。

近隣他市は私たち松戸市民にとってのライバルではなく、連携する事により強力なパートナーとなります。この地域全体を住みよいものとするため、市民の皆様がより安心で充実した生活を送れるようになるため、渡辺議員をはじめとした国政・県政、さらには近隣他市との連携により、松戸市をさらに発展させていきたいと思えます。

私も市民目線を忘れず日々活動して参ります。今後とも、皆様のご意見・ご要望をお待ち申し上げております。

渡辺ひろみち衆議院議員プロフィール

昭和25年松戸市生まれ。松戸市役所職員、千葉県議会議員を経て、平成8年、自民党公認候補として衆議院議員に初当選、以来、自民党副幹事長・経産省副大臣など国政の要職を歴任する。第45回の衆議院議員選挙では惜敗したが、その間も市民活動を精力的に行い市民目線の政治家として地力を増し、先の選挙において千葉6区より見事5期目の当選を果たした。

